

[生産実務研修]

QC(品質管理)の基礎研修

■研修の主旨・目的

会社は顧客満足への対価として収入を得ています。そのため顧客要求事項を満たす品質は必須となります。しかし過剰品質は、コストをかけた割には顧客満足とは関連しない場合があります。顧客満足を得ながら利益をあげるには、顧客要求事項の理解と、適切な実践・管理が重要なポイントになります。

本研修では、会社の売上、利益と、お客様の満足とを両立させるために、実務にける顧客満足の理解、品質改善の考案と実行の考え方と方法学びます。

■研修の特長

顧客満足とコストを両立させた品質の改善・管理の要領を学びます

「手法の理解」	QCの分析・改善技法の習得により品質向上、不良低減を図ります。
「QC的センス」	問題発見能力を高め、改善を推進します。
「定着化」	改善、定着化、管理のコツを身に付け、定着化を図ります。
「事例と演習」	豊富な事例と、ケーススタディで理解を高めます。


■研修の概要

対象	課長、第一線監督者(係長等)、改善担当、小集団活動リーダーなど。
実施要領	1日研修(9:30-16:30 昼休み1h) 1クラスmax30名として実施する。

■研修の内容

月日	時間	科目・内容	講師
一日目	9時30分 ～ 16時30分	1.品質と顧客満足 クオリティ、品質と顧客満足、顧客要求事項とコストのバランス、ロスへの考え方と品質活動など 2.品質管理の考え方 良い品質の製品をお客様に提供するためのQC活動を実践する際の着目ポイントについて学びます。 3.QC手法の理解 (QC7つ道具) 問題点を見つける「QC7つ道具」の習得 0.層別 1.管理図 2.ヒストグラム 3.グラフ 4.パレート図 5.散布図 6.特性要因図 7.チェックシート 【個別演習】 QC手法によるデータ分析演習 4.原因究明と改善考察 改善は問題点の原因を取り除く事。原因が残存すれば再発する。原因と改善の学習。 【グループ演習】 QC手法によるデータ整理と改善考察 5.改善の定着化 標準化、ルールを守る事、確認する習慣、QC的センスの醸成など。	立居場 誠治 (株)IMEコンサルティング 代表取締役

※ 研修の内容(カリキュラム)は、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

 株式会社IMEコンサルティング 東京都大田区蒲田	お問合せ、ご相談等は、弊社ホームページの[お問合せ]よりご連絡ください。 [お問合せ]
---	--

[生産実務研修]

QC(品質管理)の基礎と 自社診断研修

■研修の主旨・目的

会社は顧客満足への対価として収入を得ています。そのため顧客要求事項を満たす品質は必須となります。しかし過剰品質は、コストをかけた割には顧客満足とは関連しない場合があります。顧客満足を得ながら利益をあげるには、顧客要求事項の理解と、適切な実践・管理が重要なポイントになります。

本研修では、会社の売上、利益と、お客様の満足とを両立させるために、実務にける顧客満足の理解、品質改善の考案と実行の考え方と方法学びます。

■研修の特長

顧客満足とコストを両立させた品質の改善・管理の要領を学びます

- 品質管理の意味 QC活動を行う意味、顧客満足の重要性を学びます。
- 手法の理解 QCの分析・改善技法の習得により品質向上、不良低減を図ります。
- QC的センス 問題発見能力を高め、改善を推進します。
- 定着化 改善、定着化、管理のコツを身に付け、定着化を図ります。
- 事例と演習 豊富な事例と、ケーススタディで理解を高めます。
- 自社診断チェック チェックシートにより自社のQC活動をチェックし、仕組みの見直しを行います。

品質確保の自覚醸成と 自社QC活動の見直しを行います

品質管理の基礎

顧客満足!?

対策、予防!

品質、不良?

株式会社IMEコンサルティング
立居場 誠治

品質管理の基礎研修

「品質活動の自社診断」

品質活動の自社診断

「品質活動の自社診断」

このチェック表は、理想的な活動ができていれば、品質向上、顧客満足、自社コスト低減などが、確実に実現できると言う考えに基づいています。

点数	認識に対する自社・自部署の状況	顧客満足の観点での評価例
5	極めて良い、確実、明らかな強み	かなり高い、ほぼ理想
4	良い、充分、マイルドな強み	高い、良い
3	中程度、弱に問題はない	中程度、弱に問題はない
2	良くない、問題が、マイルドに多い	低い、カラムがある
1	悪い、大きな問題あり、弱点	かなり低い、カラムが多い

④問題点または改善の方向性 : 全項目のチェックが終わったら、評価点の低いものについて問題点または改善のポイントを考慮して記入してください。

⑤実施: 特例のため、⑥問題点のため、⑦合計点、⑧改善・対策の方向性 : 項目ごとの内容をまとめ、併せて改善の方向性を考慮して記入します。

⑨ここからはグループで意見交換して記入します。

- 評価点集計表 : 各メンバーのチェックシートの評価点を転記・集計し、総点とこの評価点を合算して決定します。
- レーダーチャート : 項目ごとの平均点でレーダーチャートを作成し、そこで分かったことをまとめます。
- チェックシートまとめの表 : 各項目の総点1~10の内容を要約し、問題点の根本原因-改善の方向性について意見交換・検討し、まとめを記入します。
- 対策マップ : 検討し作成した「問題点の改善・対策(案)」について、実行の進捗や開催設定などを行い、実行体制を構築します。
- 対策計画表 : 改善項目と改善率・対策率の重要と優先順位を考慮し、対象、計画、担当を検討します。

株式会社 IMEコンサルティング
立居場 誠治

© Seiji Tateiba 2016 Tokyo.jp


QC(品質管理)の基礎と自社診断研修

■研修の概要

名 称	QC(品質管理)の基礎と自社診断研修
内 容	顧客満足とコストを両立させた品質の改善・管理を行う為の要領を学ぶ。
対 象	課長、第一線監督者(係長等)、改善担当、小集団活動リーダーなど。
特 徴	講義で基礎を学習し、自社診断で実態をチェックして、グループ演習で今後の活動を考える。
実施要領	2日研修(9:30-16:30 昼休み1h) 1クラスmax30名として実施する。

■カリキュラム(案)

1日目 9:30~ 12:30 (昼休み1h) 13:30~ 16:30	はじめに(主旨)	【QC活動の意義】 会社は、継続企業として、存続・発展することが大前提である。QC(品質管理)は会社が利益をあげ、顧客満足を得る手段の一つである。環境変化に応じた品質改善・管理を実行するための手段と考え方を学ぶ。
	1. 顧客満足と品質	【顧客満足の理解、品質とは何か】 (自社診断チェック) 良い品質の製品をお客様に提供し続けることが会社の利益につながり、会社の存続、発展につながる。品質の良い製品を提供するためには顧客ニーズを把握することが重要であることへの理解。 ・顧客のとらえ方、顧客満足の考え方 ・ロスと品質の考え方、品質活動
	2. 品質管理の考え方	【QC活動のポイントの理解】 (自社診断チェック) QCとは、適切な品質の製品を適切な原価・納期で生産し、お客様に提供し続けるための活動である。 ・目的、テーマ、目標の設定は一体で考える ・品質改善と管理活動(PDCA,SDCA) ・改善・管理は、事実とデータに基づくこと ・検査は顧客満足の最後の砦 ・QC活動の成果は原価と顧客満足(目的実現&目標達成)
2日目 9:30~ 12:30 (昼休み1h) 13:30~ 16:30	3. QC手法の理解	【問題点を見つける方法】 (自社診断チェック) QC7つ道具の考え方、使い方について解説する。 0.層別 1.管理図 2.ヒストグラム 3.グラフ 4.パレート図(重点指向) 5.散布図 6.特性要因図 7.チェックシート
	4. 原因究明と改善考察	【適切な改善の考え方】 (自社診断チェック) 改善は問題点の原因を取り除く事。原因が残存すれば再発する。原因と改善の学習を行う。 ・現象と原因・要因のとらえ方 ・改善案の考え方
	5. 改善の定着化	【実績をあげるために必要なこと】 (自社診断チェック) 標準化、ルールを守る事、確認する習慣。第一線監督者の指導監督と教えること(OJT)。QC的センスの醸成。
	グループ演習	QC活動の自社診断とグループディスカッションで、自社・自職場のQC活動の見直しを行う。

 [aiemú:]	株式会社IMEコンサルティング 東京都大田区蒲田	お問合せ、ご相談等は、弊社ホームページの[お問合せ]よりご連絡ください。 [お問合せ]
---	-----------------------------	---

[生産実務研修]

利益のための5SとIE改善

改善手法の習得！ 現場のロス改善・定着化によりコストダウンの実現！

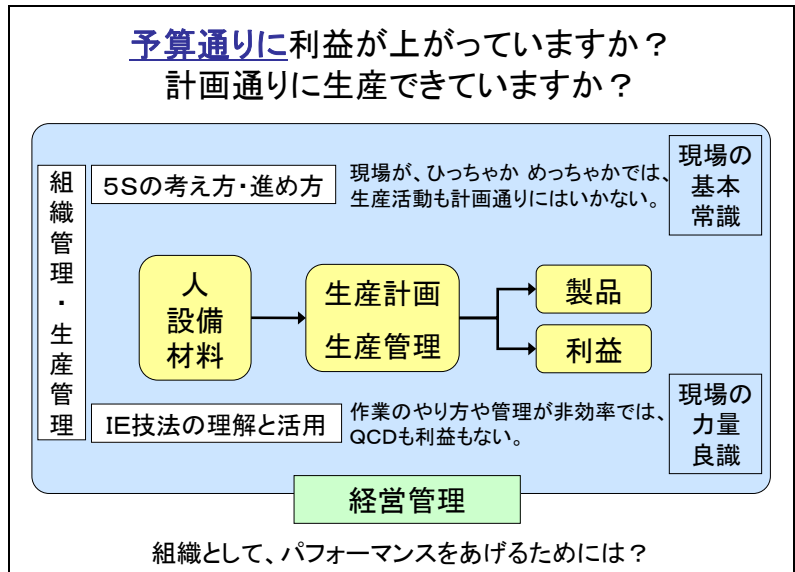
■研修の主旨・目的

会社が一定の売上げで利益をあげるには、適切なレベルまで材料費・労務費・経費のロスを改善し、原価を下げる必要があります。

その為には、何がどこにいくつあるのか わからない様では困ります。

また、仮置き・一時置きのみダ、工程や動作のロスなどを適切に見極め、改善しなければなりません。

本研修ではムダ、ロスなどを体系的に改善する5SとIEの手法を身に付けて、より効率的な生産活動の実現を目指します。



5Sは 生産管理と 設備・安全管理の基礎。ルール順守の自覚が 重要！

■研修の特長

5Sで生産の基礎を整え、IE技法で現場のロスを見つけて改善する方法を学びます。

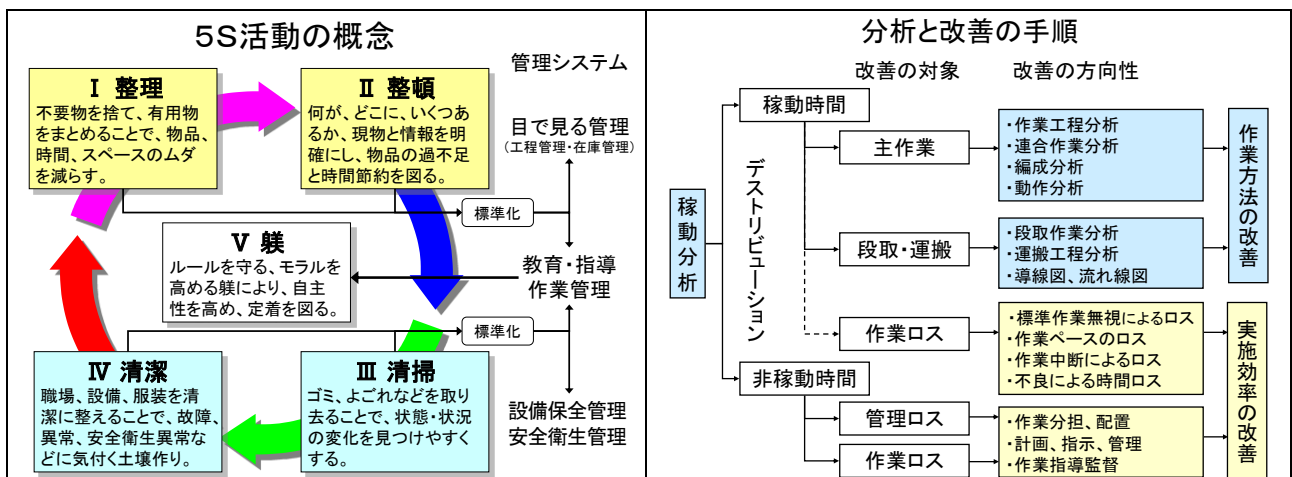
「ムダ、ロスの排除」 5S、IEの分析・改善技法の習得により製造方法を改善しムダ、ロスを省きます。

「効率化と定着化」 実施効率管理の手法を修得することにより、効率化と定着化を図ります。

「管理のコツ」 改善、定着化、管理のコツを身に付けることができます。

「事例と演習」 豊富な事例やビデオケーススタディなどで理解と発想を高めます。

**IE(生産工学)は、人・設備・材料・エネルギーの最適化を考える手法です。
「作業1秒1円」、「材料1片 10円」…ムダ・ロスの改善！**



利益のための5SとIE改善研修


■研修の実施要領


名 称	利益のための5SとIE改善研修
内 容	5SとIEの手法を学び、現場のロスの改善、定着について学びます。
対 象	課長、第一線監督者(係長等)、改善担当者、小集団リーダーなど
場 所	ご指定の場所に講師を派遣します。
実施要領	2日間研修(9:30-16:30 昼休み1h) 1クラスmax30名として実施します。

■研修の内容

月日	時間	科目・内容	講師
一日目	9時30分 ～ 16時30分	生産総論 I 5S活動の進め方 1. 5Sの考え方 2. 5Sの実施要領 II IE改善技法 実践・習得 (生産方法のロスを見つける) 1. IEの考え方 2. 稼働分析 (稼働分析演習) 3. 時間研究 【グループ演習】 時間研究～改善考案演習 4. 運搬・マテハン作業の分析 (運搬分析演習) 5. 段取り作業の分析 (段取分析演習)	立居場 誠治 (株)IMEコンサル ティング 代表取締役
二日目	9時30分 ～ 16時30分	6. 編成分析 (編成効率分析演習) 7. 連合作業分析 (連合作業分析演習) 8. 工程分析 (工程分析演習) 9. 動作分析 (動作分析演習) 10. 改善活動の進め方 III改善考案と定着化 1. 原因究明と改善考案 2. 実施と標準化、作業指導 【グループ演習】 ビデオケースの現場改善演習 IV実施効率管理・改善 (実施効率のロスを見つける) 1. 評価システム構築 2. 実施効率の管理 3. まとめ (自社の実施効率チェック)	

※ 研修の内容は、予告なく変更する場合があります。またご要望により若干のカスタマイズや変更等は可能です。
 ※ 1日間研修も可能です(演習をカットします)。お気軽にご相談ください。

 [aiemú:]	株式会社IMEコンサルティング 東京都大田区蒲田	お問合せ、ご相談等は、弊社ホームページの[お問合せ]よりご連絡ください。 [お問合せ]
---	-----------------------------	--

	<p>株式会社 IMEコンサルティング</p>	<p>東京都大田区蒲田 http://www.ime-net.com https://www.facebook.com/IMEconsulting/</p>
---	--------------------------------	---

■会社概要

株式会社IMEコンサルティングは、経営・管理の技術開発を行い、製造業を中心とした企業様に、コンサルティングや研修などを通じて経営支援をさせていただいております。

業務開始 1991年3月1日 (日本能率協会を通じて)
 創業年月日 1998年8月1日 (直接受注開始)
 設立年月日 2001年7月3日 (株式会社登記)
 設立会社名 株式会社 IMEコンサルティング
 所在地 東京都大田区蒲田
 代表取締役 立居場誠治
 資本金 1千万円



東京商工会議所会員
 蒲田法人会会員
 日本能率協会講師
 中小企業大学校講師



業務内容

- ・診断
- ・コンサルティング
- ・研修・講演
- ・ツール開発
- ・書籍、文書類
- ・診断システム
- ・eラーニングシステム開発
- ・研修コンテンツ開発

技術テーマ

- ・経営戦略、成長戦略、経営計画
- ・新製品開発・管理
- ・マネジメントシステム構築 (経営、組織、原価、ISO)
- ・生産管理、最適生産システム構築
- ・機械化・自動化・スマート化
- ・人材育成、技術技能伝承、OJT
- ・現場改善管理 (IE、QC、ポカミス)
- ・実施効率管理 (工数設備効率、品質コスト)

IMEでは、日本能率協会、中小企業大学校等に、カリキュラム、テキスト、資料等の提供、講師派遣などを行っております。

■講師プロフィール

株式会社 IMEコンサルティング
 代表取締役 立居場 誠治 (たていば せいじ)

日本大学卒業後、大手建材メーカーで生産管理、コストダウン、品質管理、公害対策、研究開発等を担当。
 その後、1991年より日本能率協会、1997年よりタナベ経営にて経営コンサルティング、研修等を行い、1998年に独立し、現在に至る。

製造業のコンサルティングを中心とし、経営戦略立案、新製品・新事業開拓、原価マネジメント、現場改善、ISO9001, 14001, OHSAS18001 の認証取得支援等で、多くの企業の指導、教育研修の実績を持つ。



著書 『技術者のための原価企画』、『理想原価への挑戦』(日本能率協会)
 『経営戦略立案』、『経営管理の仕組み』、『ヒューマンエラー、ポカミス防止』(コンテンツ堂) など

■研修実施の要領

弊社の各種プログラムを、御社ご指定の場所で研修いたします。
 研修プログラムは、ある程度のカスタマイズは可能です。 また、新規作成も可能です。
 なお、社内研修は、外部研修と比べ、多くの人材が同時に同じ研修を受講し、学ぶことが可能なため、共通の認識・理解が得られ、以降の各種活動がスムーズになる効果があります。

※ 全国各地に出講いたします。(出講した都道府県)

北海道、秋田、岩手、福島、宮城、山形、新潟、長野、群馬、栃木、埼玉、茨城、千葉、東京、神奈川、山梨、静岡、愛知、富山、石川、福井、京都、奈良、大阪、和歌山、兵庫、岡山、鳥取、広島、愛媛、福岡、佐賀、熊本

※ 出講の費用等

お問合せをいただき、実施の日数や実施要領等のご相談内容に応じて、お見積りいたします。

以上 [\[お問合せ\]](#)